

第5回 苫小牧港カーボンニュートラルポート検討会 議事概要

(令和5年3月15日(水) 14:00~16:00)

事務局からの情報提供

- 北海道開発局より、港湾法の改正等、CNP 形成等に関する最近の動きについて説明した。
- 苫小牧港管理組合より、1月31日から3月1日にかけて実施したパブリックコメントの結果について説明した。

行政機関からの情報提供

- 経済産業省北海道経済産業局より、水素・アンモニアのサプライチェーンの拠点化に関する、水素政策小委員会／アンモニア等脱炭素燃料政策小委員会合同会議の中間整理の概要についてご紹介いただいた。
- 国土交通省北海道局より、「苫東 GX HUB 構想」に関する、苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査結果についてご紹介いただいた。

議題 苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画の最終案について

- 苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画の最終案について概要を説明した。

意見交換

- 構成員の皆様より、苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画の最終案に対するご意見・コメントを頂戴した。
- 事務局より、意見交換の内容を踏まえて苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画の策定作業を進め、2023年3月中の計画策定を予定していることを説明した。

<主な意見・コメント>

- 本形成計画は初めの一歩であり、速やかに計画を具体化させる動きが必要である。
- 港湾区域内のみならず、港湾区域外の企業も含めた、道内全体の水素・アンモニアの需要を掘り起す必要があるのではないか。
- 経済産業省の水素・アンモニア政策の動向(8 拠点の整備)を意識して、取組の推進や本形成計画の記載としていくべきではないか。また北日本の各港湾と連携した取組みが必要ではないか。
- 本形成計画の方向性を、コスト面、時間軸、数量等、具体的かつ定量的にいかにかまとめしていくかが、ポイントになるのではないか。